

滋賀ブロック協議会 2023 年度

未来創造委員会 基本方針

委員長 前里 朝康

入会 3 年未満の多くのアカデミーメンバーが活躍する現在、入会から早い段階で青年会議所の理念に共感し、能動的に活動や運動に取り組むメンバーが増えることは LOM にとって好機となります。一方で、会員拡大を課題としている LOM が多い現状があることから、メンバーが JAYCEE として必要な資質の向上につながる育成の場の提供と、会員拡大に結び付けるための情報の集約と共有を図り LOM を支援する機会の創出が必要です。

まずは、能動的に青年会議所の活動や運動に取り組むメンバーを育成するために、アカデミーメンバーを中心に全メンバーが青年会議所の理念浸透や理念共感につながるができる事業を、委員会メンバー一人ひとりが計画から実行まで主体性を持って行動し開催することで、これまで以上に青年会議所の理念に共感し、やりがいを持ち前向きに地域で活躍するメンバーを増やします。さらに、各 LOM が課題としている会員の拡大活動を支援するために、年間を通し県内 10LOM の拡大手法や、新入会員の入会情報や入会理由をまとめたデータを集約し LOM 全体へ共有を図ることで、各 LOM の円滑な拡大活動の一助にし、在籍しているメンバーの定着にもつなげます。また、県内 10LOM のメンバーが青年会議所について学ぶ場を創出するために、JCI 日本が推進する Purpose や、JC プロトコルとセレモニー、理念共感グランドデザインの解説を行う JC プログラムのセミナーと、近畿地区協議会が進める拡大支援と理念共感プロモーターについての事業を年間を通し実施することで、JAYCEE としての様々な知識、技術を身に付ける機会を創出します。

県内 10LOM のメンバーが掛け替えのない仲間とともに、明るい未来を創造していく青年経済人の一員として歩いていくことこそが、地域にとって大きな力になるということを実感していただけるように邁進し、「SHIGA⇄JAPAN 顕在力を受信・潜在力を発信できる滋賀の創出」を実現します。

<事業計画>

1. 能動的に JC 活動に取り組む姿勢を育むアカデミー事業の実施
2. 各 LOM との会員拡大の情報交換・支援活動及び定時報告
3. 本会推進 JC プログラムの実施